

## バイオミメティクスから誕生した「グアニン結晶」 化粧品へ応用

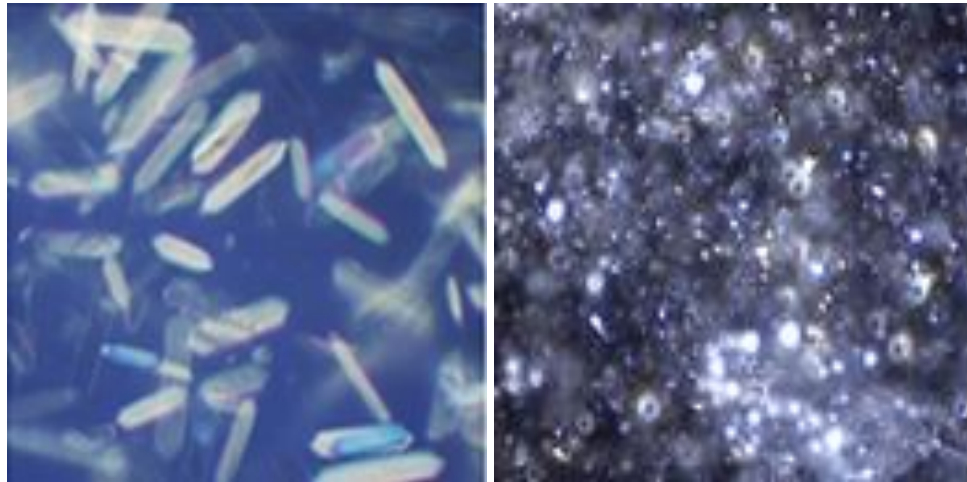
～期待される効果～

化粧品のシミ・くすみのカバー効果

肌のトーンアップ効果

肌の赤みや色ムラを補正するソフトフォーカス効果

保湿性の向上効果



< 粒径20 $\mu$ mの「グアニン結晶」 >

< 粒径5 $\mu$ m以下の「グアニン結晶」 >

※魚類の鱗や皮に存在する「グアニン結晶」は粒径20 $\mu$ mが基本ですが特徴を効率よく引き出すため粒径が5 $\mu$ m以下に加工し、化粧品へ応用

新日本製薬 株式会社 NEWS RELEASEより

## グアニン結晶を化粧品へ応用

【特許番号】特許第7045013号

【発明の名称】「グアニン結晶の製造方法」

【出願人】国立大学法人山口大学、国立大学法人広島大学

【発明者】浅田裕法、倉橋優、木村隆幸、岩坂正和

【実施先】新日本製薬株式会社

URL: <https://corporate.shinnihonseiyaku.co.jp/>

《お問合せ先》

経営推進室 広報担当 TEL:092-303-8318

### 【概要】

山口大学は、広島大学との『グアニンを結晶化させる技術とグアニン結晶の分散化技術』に関する共同研究成果を基にして、新日本製薬株式会社と「グアニン結晶」を化粧品へ応用する技術を共同開発しました。

### 【特徴】

- 「グアニン結晶」とは色素を持たない透明性のある物質で、結晶の積層構造で光を屈折させ、様々な色彩を呈する特徴がある。
- シミやくすみ等の肌悩みを効率的に解決することをめざし、魚類が外敵から身を守るため、キラキラと光を屈折させ周囲の環境に同化しカモフラージュすることに着目。
- 魚類の鱗などに存在し、光を乱反射する「グアニン結晶」を粒径5 $\mu$ m以下に分散化し化粧品に添加することで、化粧品のシミ・くすみのカバー効果や肌のトーンアップ効果が期待できる。
- 生物の構造・機能等から着想を得て新技術の開発や商品開発に活かす技術は、「バイオミメティクス」と言われ、持続可能な社会実現へ向けた技術革新をもたらすものとして注目されている。
- 本技術移転では、別途応用特許の出願前譲渡(特許第7039086号)及び、製造ノウハウの実施許諾契約も同時に行っている。